

「ハザードマップを見よう」
ハザードマップ ポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

2026年1月23日
TCDN 東海キリスト者災害ネット
教会防災セミナーに向けて

2026年1月23日教会防災セミナーにご参加予定の皆さま

教会防災セミナーへのご参加ありがとうございます。セミナーでは、講師の大間哲さんより、教会防災マニュアルの作り方についてレクチャーとワークショップをして頂きますが、お時間のある方は、宜しければ事前に「ハザードマップ」を使ってみて、教会やお住いの所在地のハザードマップを是非見てみて下さい。

ハザードマップ ポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

<使ってみる際の留意点>

1. ハザードマップは大きく分けて「水害系」と「地震系」があります。「重ねるハザードマップ」は水害系が主です。なので、地震被害は「わがまちハザードマップ」の方で確認してください。
2. ハザードマップの見方で、よくある過ちが、「自分の家(教会)や職場が〇〇色だったから危ない」とか「〇〇色だったから大丈夫」と言った見方をしてしまうのですが、あくまで周辺の「傾向」を見ていただくようにお願いします。周囲はどうか、避難所までの道はどうか。家や教会の特定の1地点だけを見て一喜一憂なされないようにとお伝えください。

その上で、ご自身(や信徒の皆様)の家や行動範囲を眺めておいていただけたら充分です。

<その他>

- * 点はグリッドなので、必ずしも点をご自身の家や教会の状況を正確に現わしているとは限りません。
- * 自分の家は少し高くて警戒の色が薄くても周辺がみんな低くて危なければ、周辺と共に危険にさらされることもあり得ます。
- * 土砂災害や内水氾濫、津波、液状化などは、想定を超えることもありえます。もちろん、十分に科学的な根拠をもってハザードマップは作られているはずですが、特定の点の危険性を正確に現わしているとは言い切れず、むしろ周辺も含めてどのような傾向にあるのかということ把握することが大切ということです。

※教会防災セミナーでも、ハザードマップについてはご紹介しますが、お時間の関係で十分にご紹介が出来ないかも知れません。

当日、皆様とお会いできるのをの楽しみにしております。